

魚沼市若者の意識と生活に関する調査

報 告 書

若者 18～39 歳

令和 7 年 9 月

魚 沼 市

目 次

1 調査概要

調査目的.....	1
調査方法.....	1
回収結果.....	1
報告書の見方.....	1

2 調査結果

回答者自身について.....	2
問 1 居住地区.....	2
問 2 性別.....	2
問 3 年齢.....	2
問 4 世帯構成.....	3
問 5 世帯の生計の担い手.....	4
問 6 主観的な経済状況.....	4
問 7 職業.....	5
問 7-1 最終学歴.....	5
日頃の意識と生活について.....	6
問 8 自分のことが好きか.....	6
問 9 自分らしさがあると思うか.....	6
問 10 居場所.....	7
問 11 幸福度.....	9
問 12 社会の役に立ちたいか.....	10
問 13 将来に対する希望.....	11
問 13-1 将来に希望が持てない理由.....	11
悩みや困難な経験について.....	15
問 14 悩みや不安.....	15
問 15 相談相手.....	15
問 16 社会生活を送ることが困難になった経験.....	16
問 16-1 社会生活を送ることが困難なことについての相談.....	17
問 16-1-1 相談しなかった理由.....	18
結婚や家庭生活について.....	19
問 17 配偶者.....	19
問 17-1 養育費.....	20
問 17-2 恋人の有無.....	20
問 17-3 結婚願望.....	20
問 17-3-1 結婚していない理由.....	21
問 17-3-2 結婚への支援.....	21

問 17-3-3 結婚したいと思わない理由.....	22
問 18 子どもの人数.....	23
問 18-1 実際の子どもの人数が理想より少ない理由.....	24
地域や社会について.....	25
問 19 魚沼市のことが好きか.....	25
問 19-1 魚沼市のことが好きな理由.....	26
問 20 今後の居住意向.....	27
問 21 少子化問題について.....	28
問 22 少子化対策.....	29

1 調査概要

■ 調査目的

こども・若者・子育てに関する施策を総合的に推進するため、こども基本法に基づき「魚沼市こども計画」を新たに策定するにあたり、計画策定の基礎資料として、若者の生活実態やニーズを把握することを目的としています。

■ 調査方法

若者の意識と生活に関する調査	
調査対象	18～39歳の市民
抽出方法	無作為抽出
調査方法	郵送による案内文の配布と インターネットによる回答
調査時期	令和7年7月8日～令和7年7月31日

■ 回収結果

若者の意識と生活に関する調査	
配布数	1,000 件
有効回答数	303 件
回収率	30.3%

■ 報告書の見方

- ▶ グラフ中の「n」とは、その設問の回答者数（母数：number）を表しています。
- ▶ 調査結果の比率は、その設問の回答者数を基数として、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを示しているため、その合計値が100.0%にならない場合があります。
- ▶ 「○はいくつでも」など、複数回答の設問の場合、回答比率の合計は100.0%を超える場合があります。
- ▶ クロス集計では、無回答を除外しているため、設問の回答者数合計と一致しない場合があります。
- ▶ 選択肢の文章が長い場合、要約して短く表現している場合があります。
- ▶ クロスグラフの凡例については、各グラフの始めの部分のみ表示しています。
- ▶ 設問により、「問○で○○と回答した人のみ」など回答者の限定があります。回答者が少ない場合は回答者1人の違いで割合が大きく変わることがあるので注意が必要です。
- ▶ 「n」が少ない場合に一部のグラフを省略し詳細を記載している場合があります。

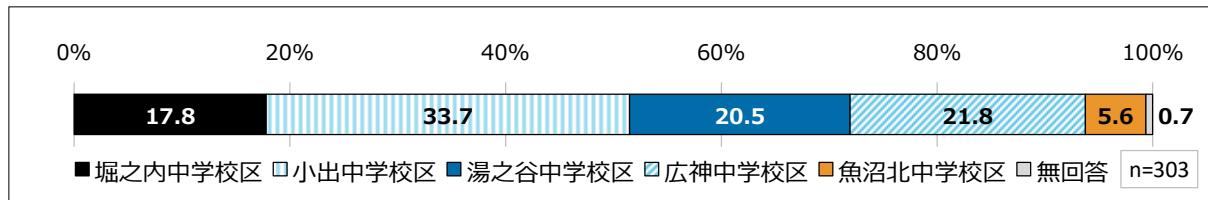
2 調査結果

■ 回答者自身について

問1 居住地区

お住まいの地区はどちらですか

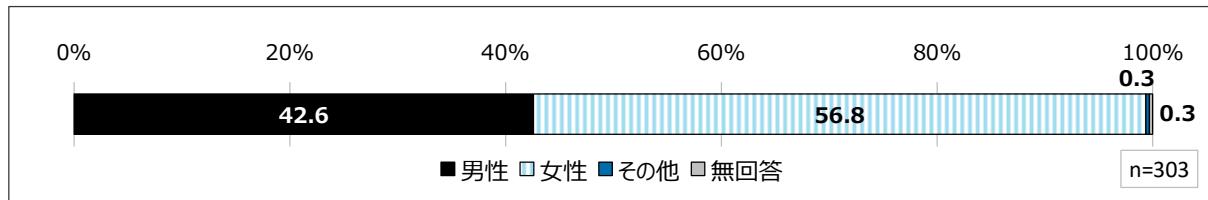
「小出中学校区」の割合が最も高く、「魚沼北中学校区」の割合が最も低くなっています。



問2 性別

あなたの性別を教えてください

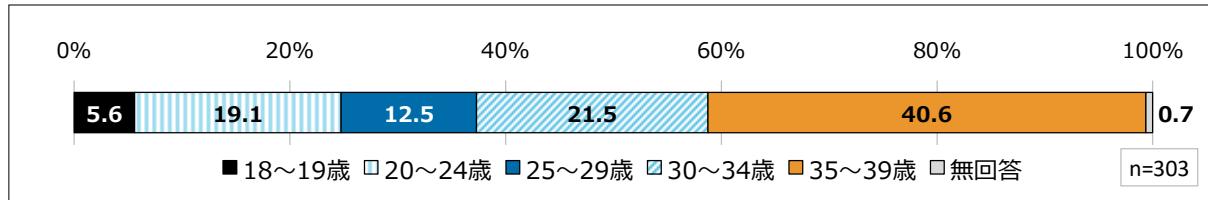
「女性」の割合がやや高く 56.8% となっています。



問3 年齢

あなたの年齢を教えてください

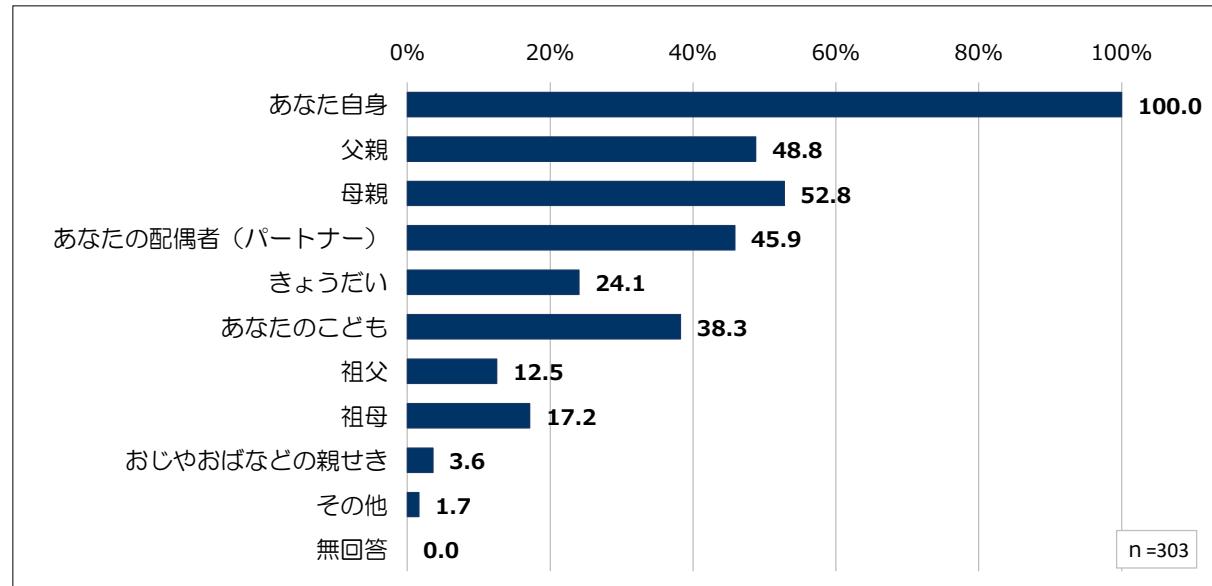
「35~39 歳」の割合が 40.6% と高く、平均は 30.8 歳となっています。



問4 世帯構成

一緒に住んでいる家族とあなたを含めた世帯員数を教えてください (○はいくつでも)

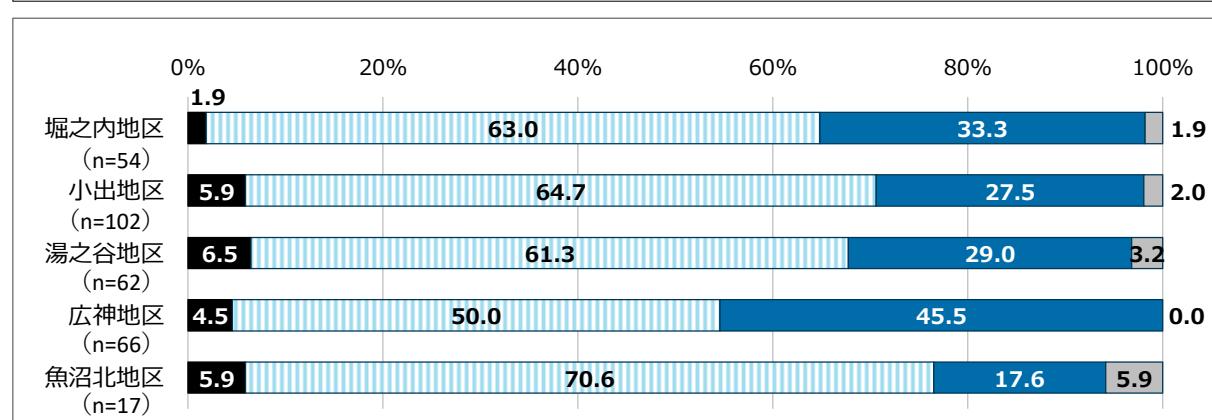
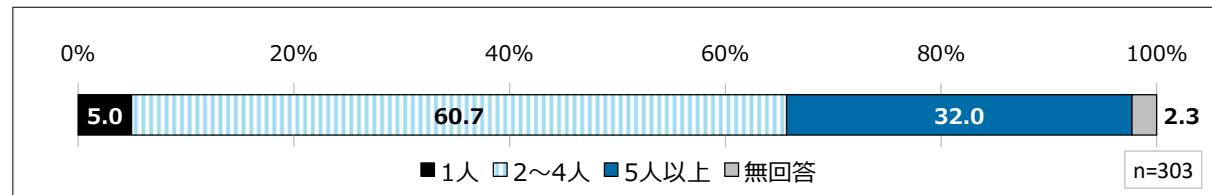
「あなた自身」を除くと「母親」の割合が52.8%と最も高く、次いで「父親」が48.8%、「配偶者（パートナー）」が45.9%などとなっています。



世帯員数は「2～4人」の割合が60.7%と高く、平均は4.0人となっています。

居住地区別に世帯員数をみると、広神地区で「5人以上」の割合が高くなっています。

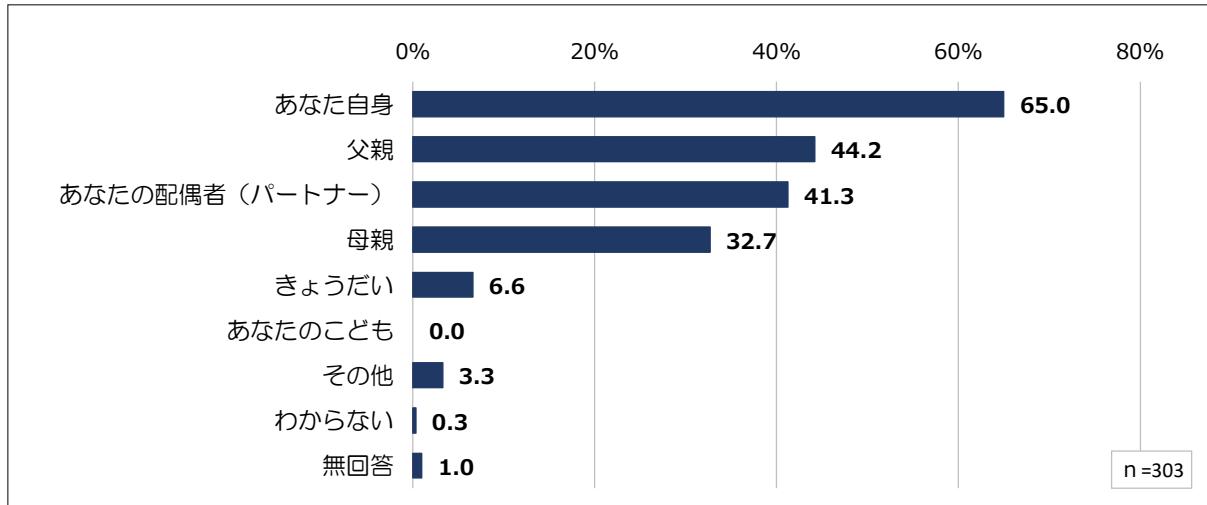
世帯員数



問 5 世帯の生計の担い手

あなたの世帯の生計を支えている方はどなたですか (○はいくつでも)

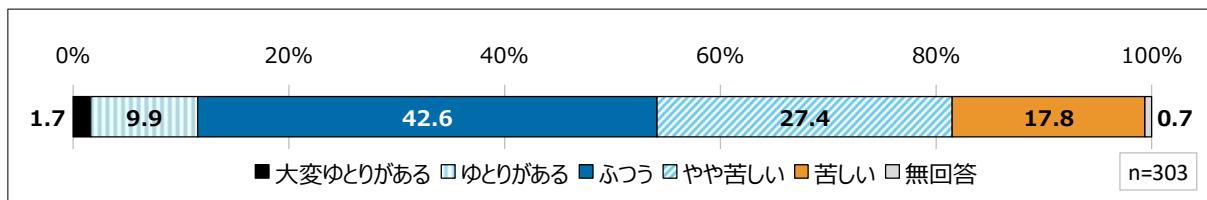
回答者本人の割合が最も高く 65.0% となっています。



問 6 主観的な経済状況

現在の暮らしを経済的にみてどう思いますか

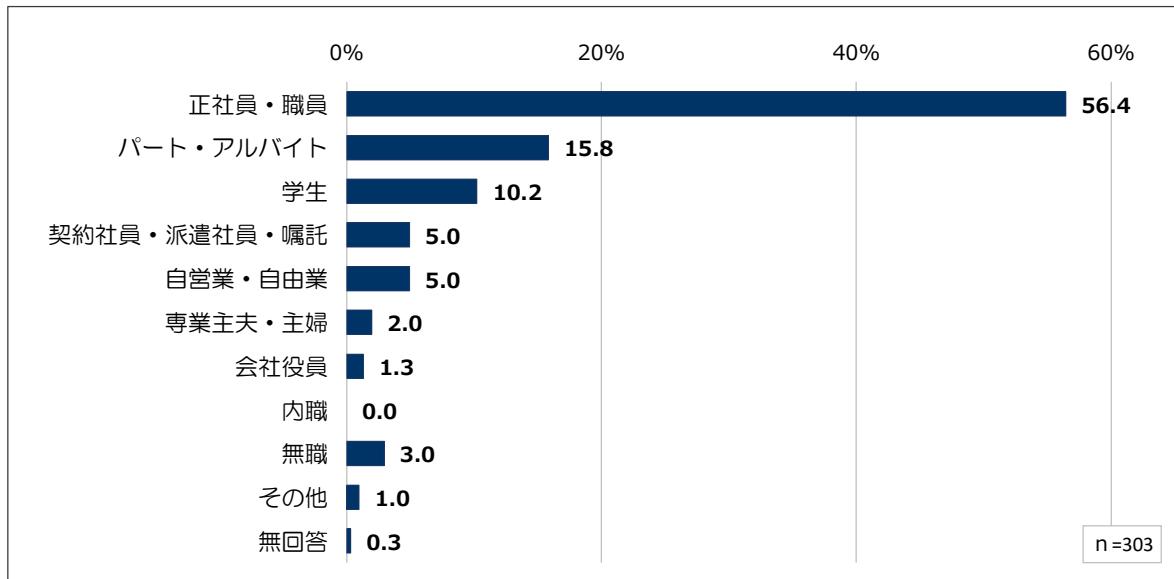
「ふつう」の割合が最も高く 42.6% となっていますが、「苦しい」と「やや苦しい」を合わせると 45.2% で、半数近くの若者が経済的な厳しさを感じている状況です。



問 7 職業

あなたの現在の仕事をお答えください

「正社員・職員」の割合が最も高く56.4%となっています。

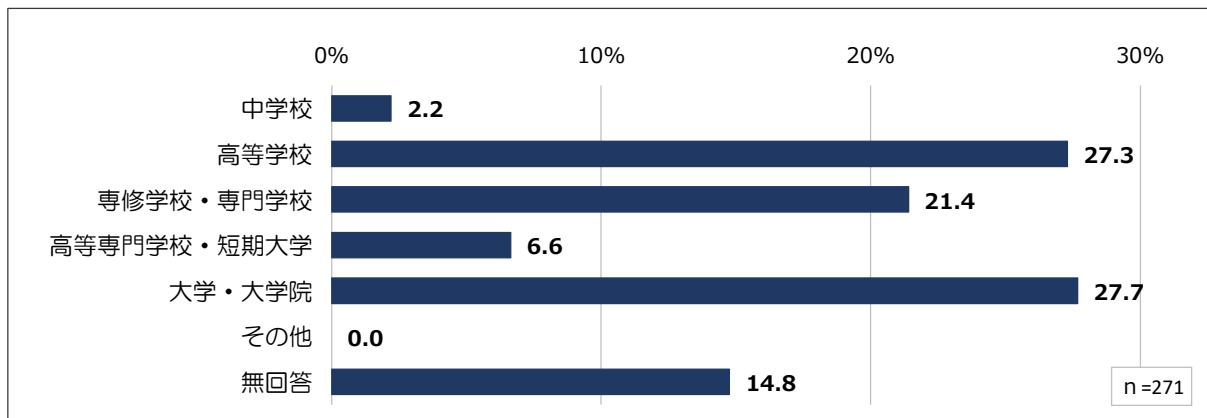


«学生以外の人のみ»

問 7-1 最終学歴

あなたが最後に通った学校についてお答えください

「大学・大学院」の割合が27.7%と最も高く、次いで「高等学校」が27.3%、「専修学校・専門学校」が21.4%などとなっています。



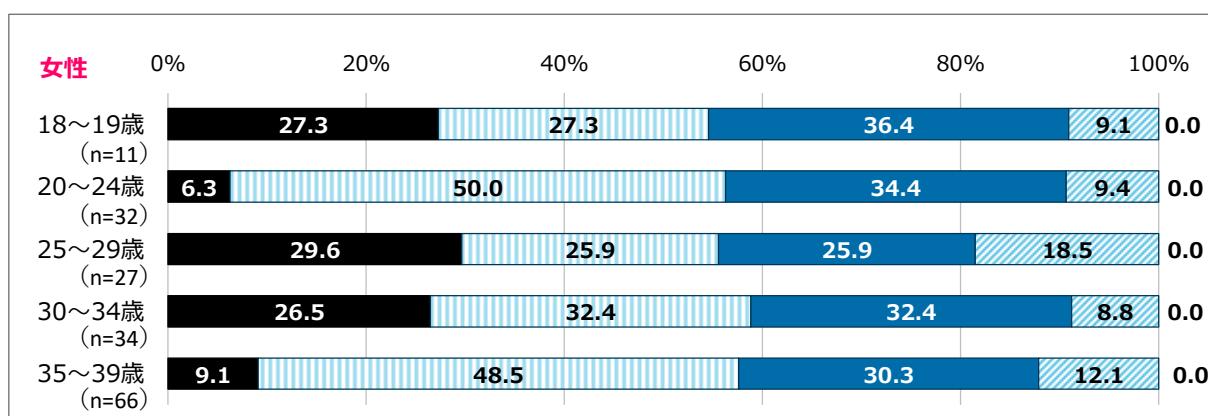
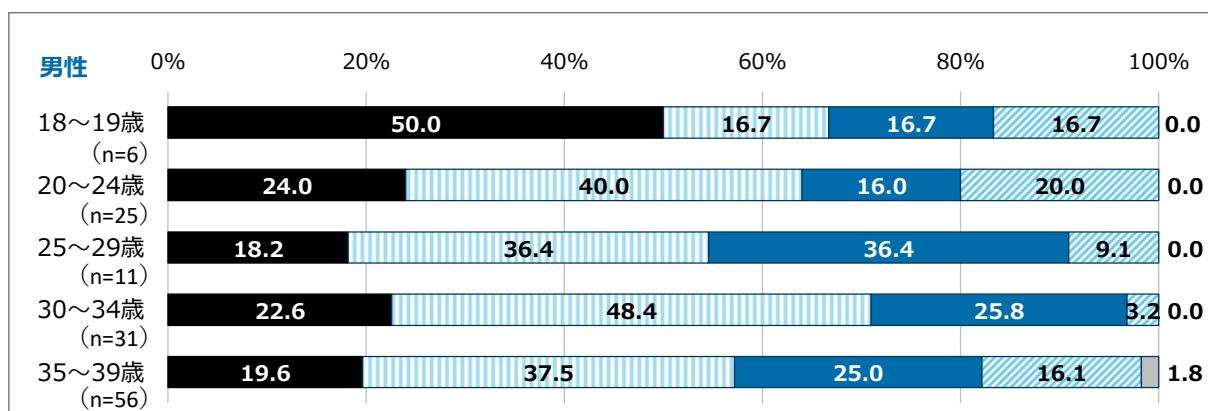
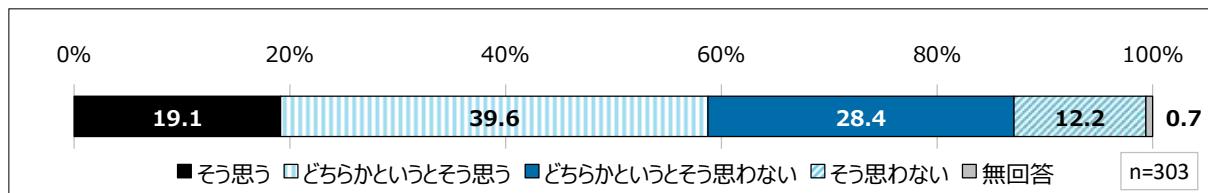
■ 日頃の意識と生活について

問8 自分のことが好きですか

今の自分が好きですか

「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合わせた割合は58.7%となっています。

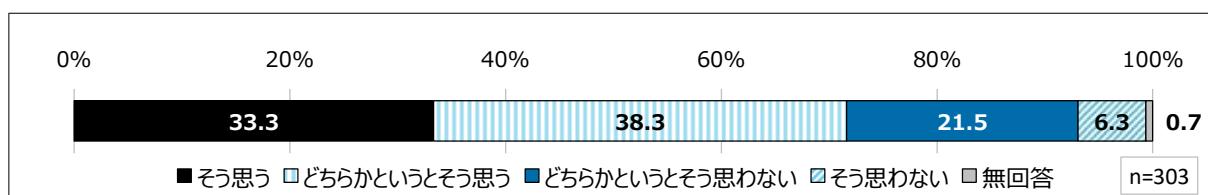
性別・年齢別にみると、数値にばらつきはありますが、「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合わせた割合に明らかな傾向はみられませんでした。



問9 自分らしさがあると思うか

自分には自分らしさというものがあると思う

「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合わせた割合は71.6%となっています。

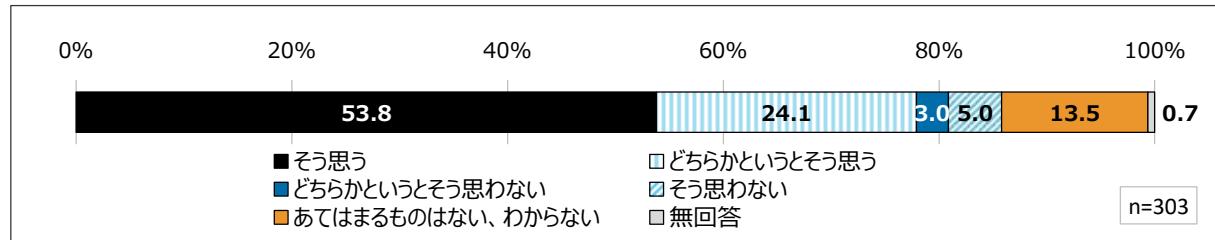


問10 居場所

次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地のよい場所など)になっていますか

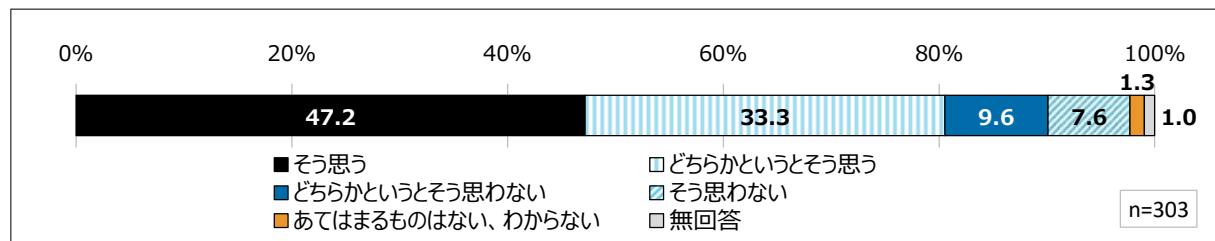
① 自分の部屋

「そう思う」の割合は 53.8%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると 77.9%となっています。



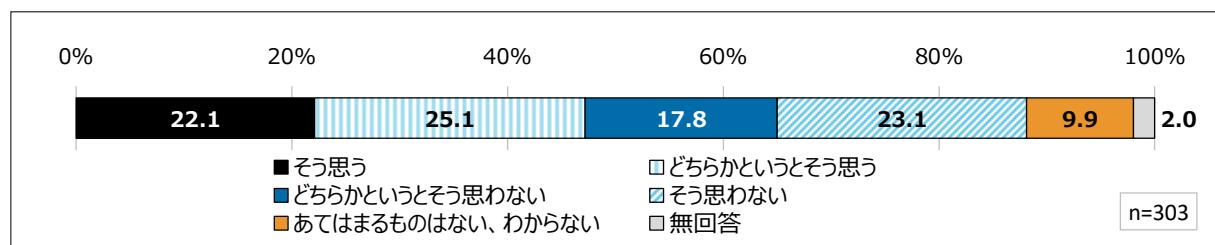
② 家庭（実家や親戚の家を含む）

「そう思う」の割合は 47.2%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると 80.5%となっています。



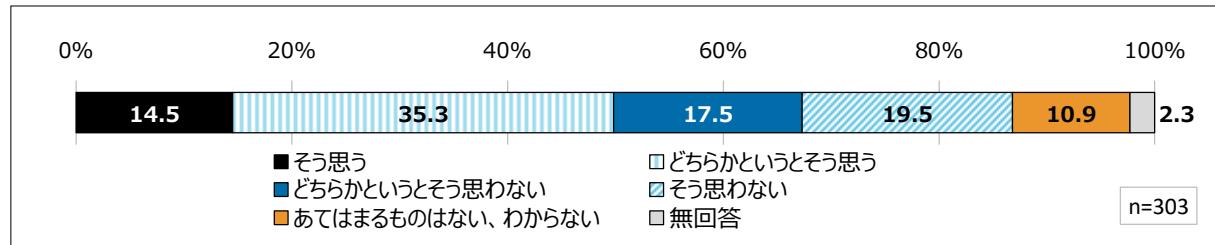
③ 学校（卒業した学校を含む）

「そう思う」の割合は 22.1%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると 47.2%となっています。一方で「そう思わない」の割合が 23.1%で、「そう思う」を上回っている状況です。



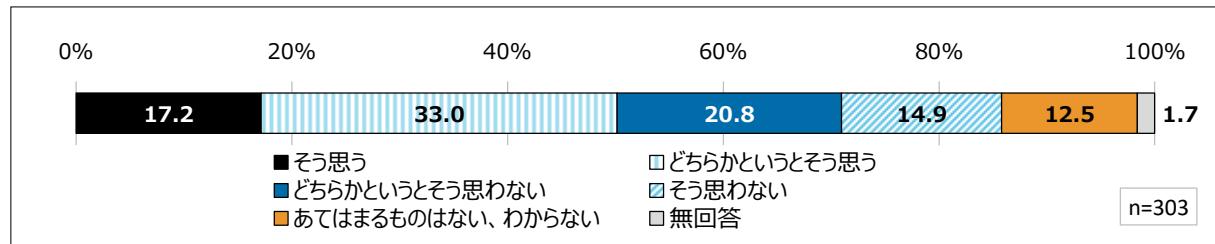
④ 職場（過去の職場を含む）

「そう思う」の割合は14.5%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると49.8%となっています。一方で「そう思わない」の割合が19.5%で、「そう思う」を上回っている状況です。



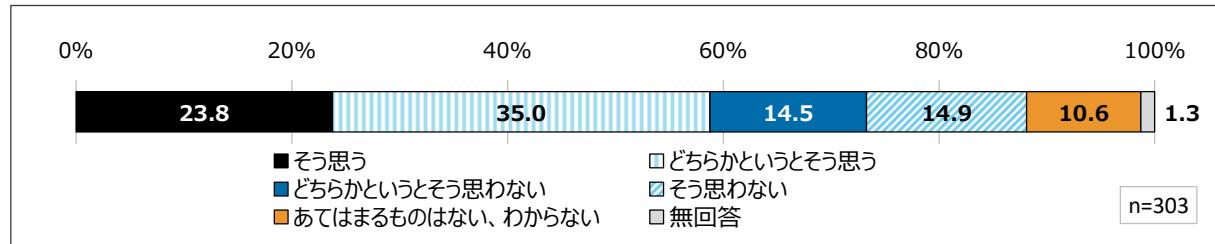
⑤ 地域（図書館や公民館や公園など、現在住んでいる場所やそこにある建物など）

「そう思う」の割合は17.2%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると50.2%となっています。



⑥ インターネット空間（SNS、YouTubeやオンラインゲームなど）

「そう思う」の割合は23.8%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると58.8%となっています。

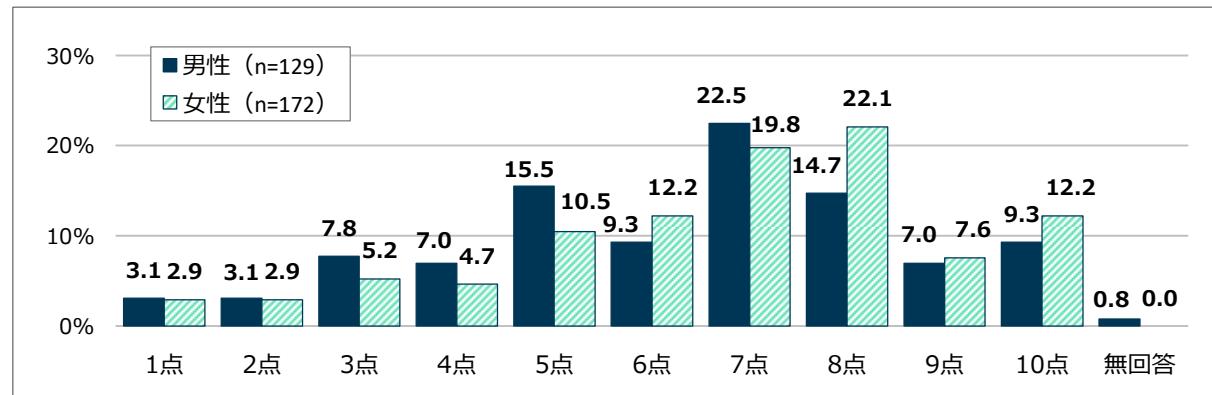


問11 幸福度

あなたは今、幸せだと思いますか。生活に満足したり、喜びを感じたりしますか。「とても幸せ」を10点、「まったく幸せでない」を1点として、点数をつけてください

幸福度の平均は6.5点となっています。

性別にみると、男性は「7点」の割合が最も高く、平均は6.3点となっています。女性は「8点」の割合が最も高く、平均は6.7点で、男性より0.4ポイント高くなっています。



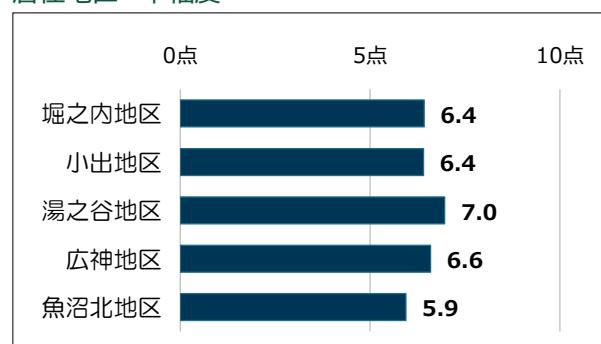
幸福度の平均点について、居住地区別にみると「湯之谷地区」でやや高くなっています。

年齢別にみると、年齢が上がるほど平均点が低くなる傾向がみられます。

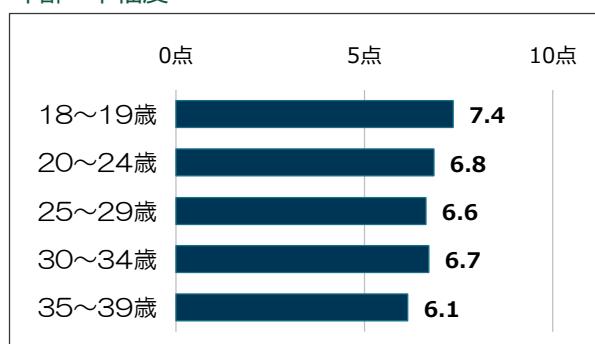
主観的な経済状況別にみると、経済的に苦しいほど平均点が低くなる傾向がみられます。

最終学歴別にみると、高学歴なほど平均点が高い傾向がみられます。

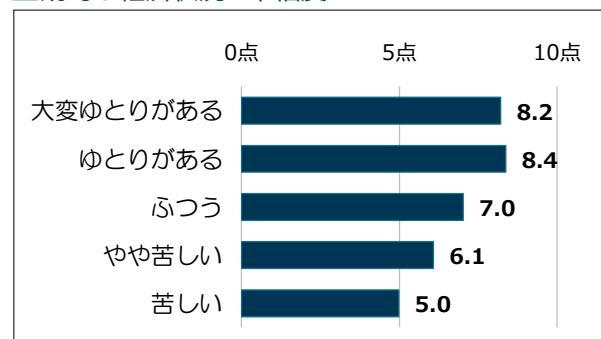
居住地区×幸福度



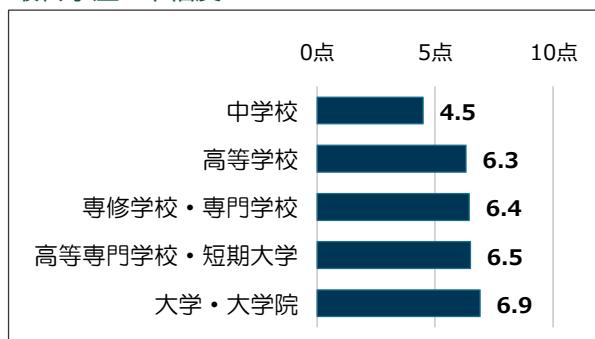
年齢×幸福度



主観的な経済状況×幸福度



最終学歴×幸福度

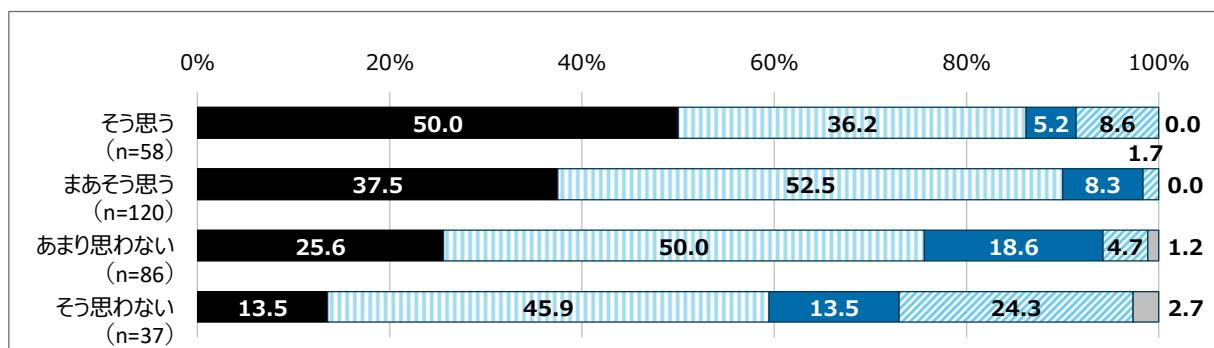
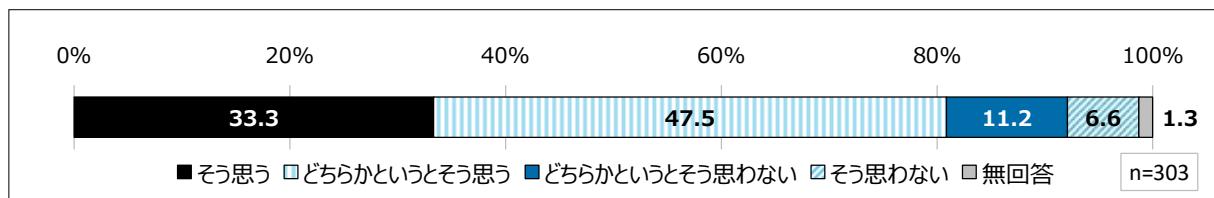


問12 社会の役に立ちたいか

社会の役に立ちたいと思いますか

「そう思う」の割合は33.3%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると80.8%となっています。

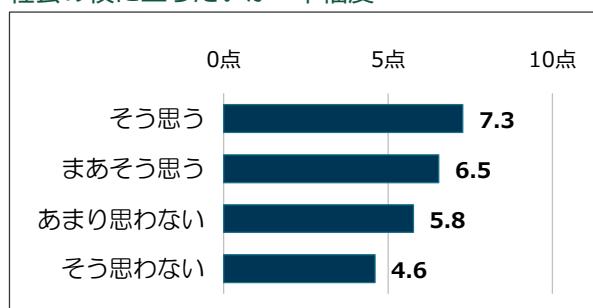
今の自分が好きか(問8)の回答別にみると、自分が好きなほうが社会の役に立ちたいと思う割合が高い傾向がみられます。



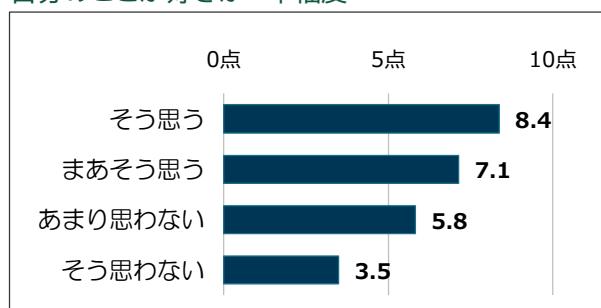
幸福度の平均点について、社会の役に立ちたいかどうかの回答別にみると、社会の役に立ちたいと思っているほど平均点が高い傾向がみられます。

自分が好きかの回答別にみると、自分が好きなほど平均点が高い傾向が強くみられます。

社会の役に立ちたいか×幸福度



自分のことが好きか×幸福度

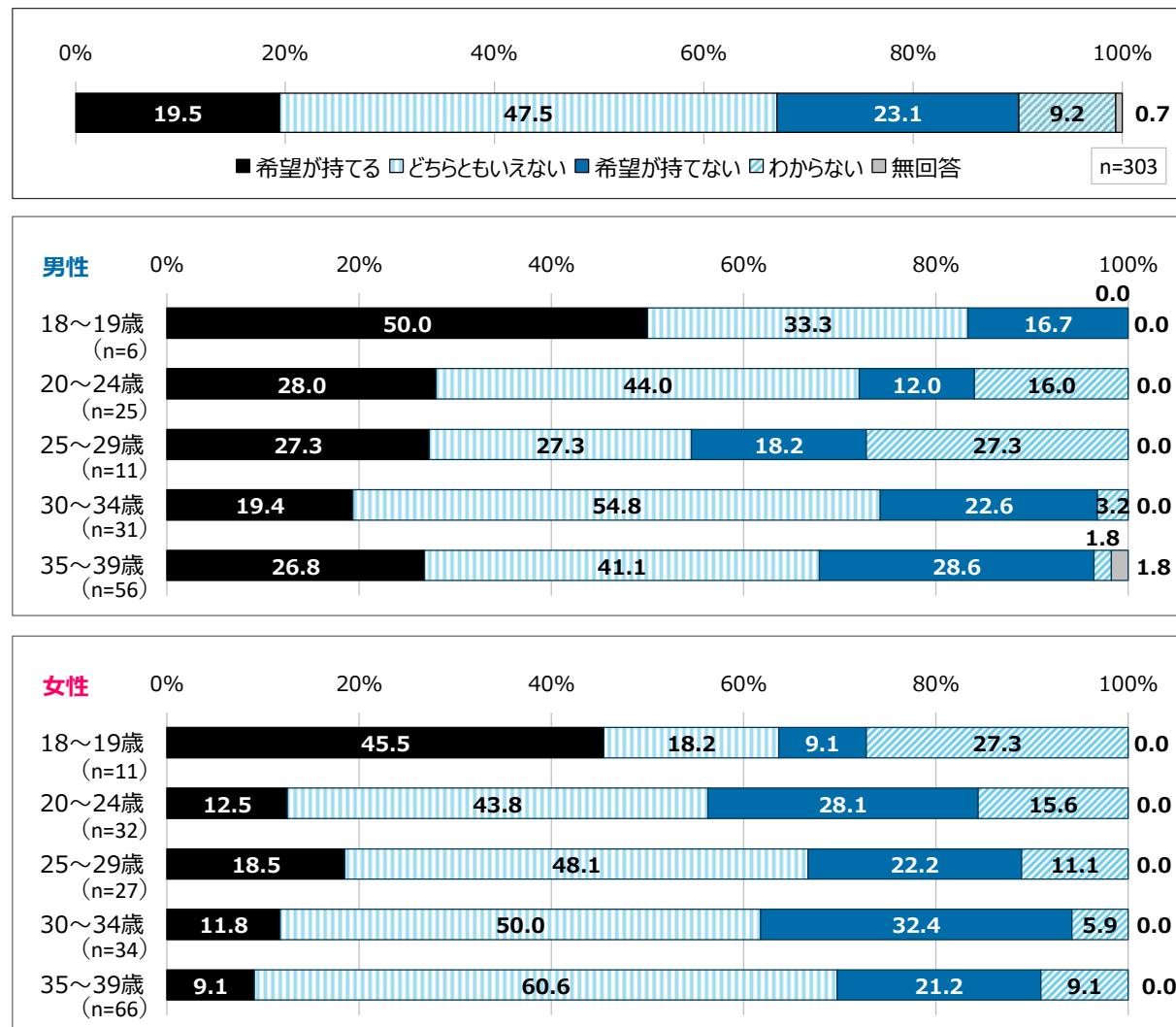


問13 将来に対する希望

将来に対して希望を持っていますか

「希望が持てる」の割合は19.5%で、「希望が持てない」の23.1%を下回っています。

性別・年齢別にみると、男性・女性ともに18~19歳で「希望が持てる」の割合が最も高くなっています。また、すべての年齢層で女性のほうが「希望が持てる」の割合が低くなっています。



«将来に対して「希望が持てない」と回答した人のみ»

問13-1 将来に希望が持てない理由

希望が持てない理由は何ですか

男性.....

- 賃金が安い。
- 今、共働きでなんとか生活できているが、子どもが生まれたり、思わぬことが起きたりして片方が働けなくなると不安である。

- 税金が高く生活が苦しいので、将来に希望を持てない。
- 希望を持てる要素がないから。
- 現在の国の政治。税金。アメリカの課税。
- 不景気、物価高、年金制度の破綻の可能性、未婚だから等。
- 持病があって仕事が続かない。
- 少子高齢化が急激に進んでおり、仕事にしろ、育児にしろ、今より悪くなる一方だという考え方しかないため。
- 新潟市から地元へ移住したのに、魚沼市の将来性は絶望的。移住しなければよかった。以前にも市へアンケートで改善要望を出したが何も変わらない。インターチェンジの看板に5億円も使ったのに経済効果はいくら出ていますか。市民へ説明してほしい。そんなことに5億円も支出できるなら、少子化対策や今住んでくれている世帯のことを考えなければ、誰も魚沼市に住みたいと思わない。このアンケートもどうせ変わらないと思って回答しているけど。もっと真剣に考えろ。市長、教育委員会どちらも終わっている。大義名分ばかり一丁前のこと並べて、改善や意見は何も聞かない。魚沼市の現状をわかっていない。まずもっと何が問題か考えろ。
- 金銭的な不安がある。心身の健康に不安がある。まずはこの2つが大きい。妻との関係にも不安がある。地域、世の中がよくなる兆しが見えない。何のために生きているのか。生きる意味がわからなくなるときがある。死ぬよりも生きているほうが辛い、大変なのでは？と思えるときもある。地球ごと消えてなくなってしまえば、あらゆる悩みは消える。むしろ、何もかも初めからなかったものになってしまえばいいのに。とすら思えるときがある。
- 税の還元率が低いため。
- 税金ばかり引かれ、手取りが増えない。
- 経済的な先行きが不安。会社の存続、経営が心配。
- お金が無い。（5件）
- 収入。
- 魚沼市は特にだが、新しいことへのスタートが遅い、消極的であること。市役所へ話をしに行く機会もあったが、職員の言葉や態度があからさまにこちらを下にみたような態度であった。
- 結婚して家庭を持つといった、いわゆる人並みの人生がイメージできない。
- すべてに希望が持てない。
- 収入面と将来的な親の介護など。
- 不明だから

女性…………

- 税金や物価高などの金銭的な問題で生活が豊かにならないため。
- 将来働くかわからない。
- 魚沼市に楽しいと感じる所がないため、遠くまで行かなくてはいけない。時間と体力とお金を使うため、若者は出ていくし、田舎のくせに土地も家賃も高いし希望が持てない。
- 努力してこなかったので老後が心配。金銭面的に。
- 経済的困窮のため。

- 日本が壊れてきていて、日本ではなくなってきているから、日本政府がクズだから、移民によって、日本が治安悪くなっているから、増税ばかりで、働いても、働いても税金で取られるから、税金がちゃんと国のために使われず、政治家がバラマキばかりしているから、中国に乗っ取られて日本もウイグル虐殺みたいな感じになりそうで怖い。子どもの将来が不安。メディアが本当のことを国民に伝えないで、偏向報道だから。
- 物価が高い、税金が高い、米が高い、ガソリンが高い、電気料が高い、全部何もかも高い。子育て世帯に補助も少なく、子育てにまったく向かない世の中になっている。このままの今の政治ではもう1人産みたいとはまったく思えない。
- 給与はそれほど上がらないのに物価高で、日々生活するだけでお金がかかる。子どもを産もうと思っても、子どもを育てるのにもお金がかかる、それに加えて高齢化で自分たちの老後資金も貯めないといけない。子どもを産み育てることが果たしてできるのか、生まれた子どもは幸せかと考えると、子どもを産むか悩んでしまう。
- いつか自分の介護が必要になったときに、お金はあっても地域的に人手不足で、みてくれる人がいない状況になりそうだから。
- 仕事が無いから。
- 今は家族がいるから生きていれるけど、両親が亡くなったら1人で生きていける気がしない。誰かに助けてもらえる価値が自分にあると思えない。すべてが怖い。
- 生活が苦しすぎる。子どもたちが伸び伸び遊べる場所がない。しっかり仕事をして収入を得たいが、現状では無理。
- 将来や人生への不安、お金への不安など心配ごとが多いため。
- 将来が不安。楽しみがない。先が見えない。
- 経済的不安。
- こどももほしいけど、いまの日本だと平和な田舎でも危なくなるかもしれないから。
- 今の世帯収入では大丈夫だが、夫と2人になったときが不安。また、高齢になったとき、生活の利便性などにに関して地域に不安を感じる。
- 金銭的に余裕がなく、子どもを育てていけるのか、老後はどうなるのか心配だから。
- お金への不安。
- 物価が高いのに収入が安い。土地の管理が厳しい。税金だの支払いが困る。貯蓄ができない。余裕がない。健康面でもいつ自分が病気にかかるか不安。
- 日本自体の先行きが不明瞭で不安。そんな国で今後両親の世話をし、1人で生きていかなければいけないので、希望が持てない。
- 金銭面。
- 生きていたくないし、人間に生まれたことを後悔しているというか、人間として生きていることが恥ずかしい。
- 所得が上がらないため。
- 先が見えない不安。生きる意味もない。
- 精神疾患を患っていて、学校に通えているものの奨学金がちゃんと返還できるのかや、そもそも就職できるか

不安だから。

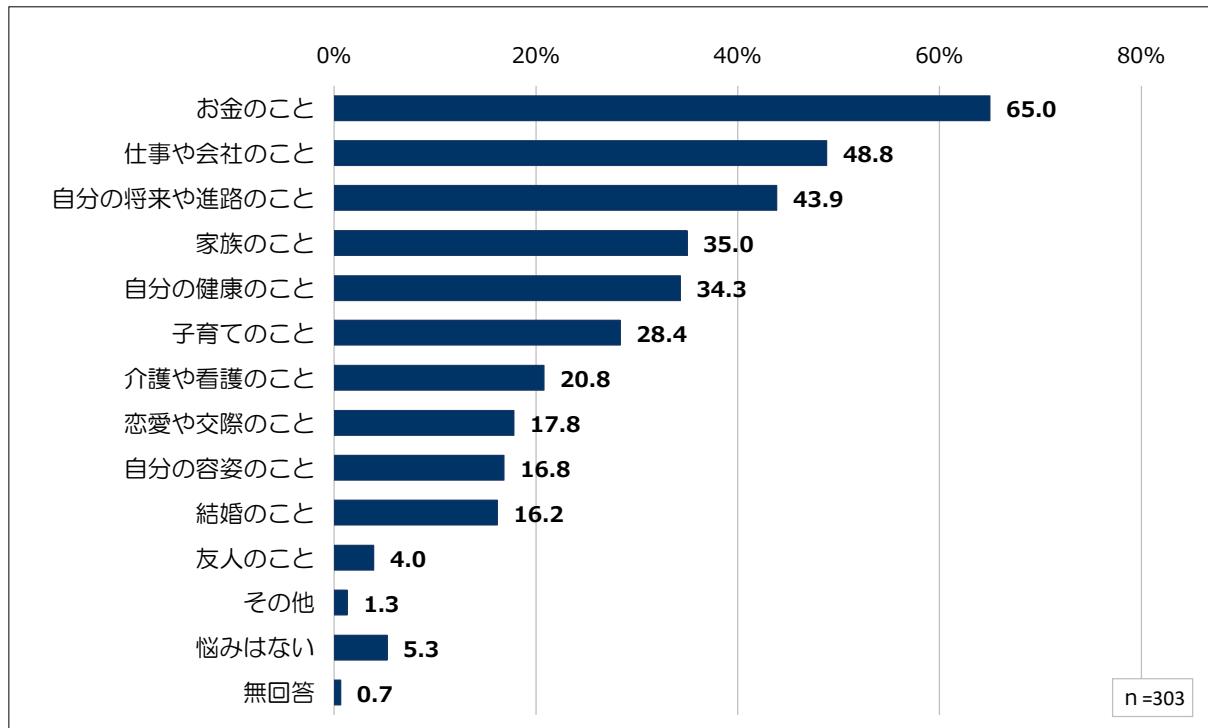
- 行政が変わらないから。
- 生きるのに金がかかりすぎている。年金は十分にもらえる気がしない。実家の取り壊しに500万円とか用意できない。
- 社会保険料や税金は上がり続け、年金はもらえるかわからない、市内に娯楽施設や気楽に買い物を楽しめる場所、食事ができる場所が少ない。いつまで今の家に住み続けられるのか。少子高齢化により魚沼市がなくなるのが早いか、我々が死ぬのが早いか、不安しかありません。
- こどもと夫が進行性の病気を患っているから。
- 給与、賞与が少ないので物価高で、その月暮らすのがやつとな状態。貯金もできず、これからこどもが大きくなって、出る金額も大きくなることに不安しか感じない。こどもがよく体調を崩し、有休では足りず欠勤日数が多いので転職を考えているが、転職早々休みをもらえるかわからないことから足踏みしている。病児保育は他の病気を貰ってしまって、また休みが長引くのが怖くて考えていよい。
- 現在の社会構造が持続可能なものだと思えないため。
- 経済面で大学には行けなかつたので、国家試験に向けての知識も学べませんでした。なりたい職業がありましたが、国家資格が必要だつたり、大学卒が条件だつたりして就職活動に苦戦しました。現在の職業はやりたかったことを6割程できていますが、学んできたことを最大限に生かせず、自己肯定感が下がり自分を好きになれません。未来や将来にも希望は持てません。

■ 悩みや困難な経験について

問14 悩みや不安

今、悩んでいることや不安なことはありますか（○はいくつでも）

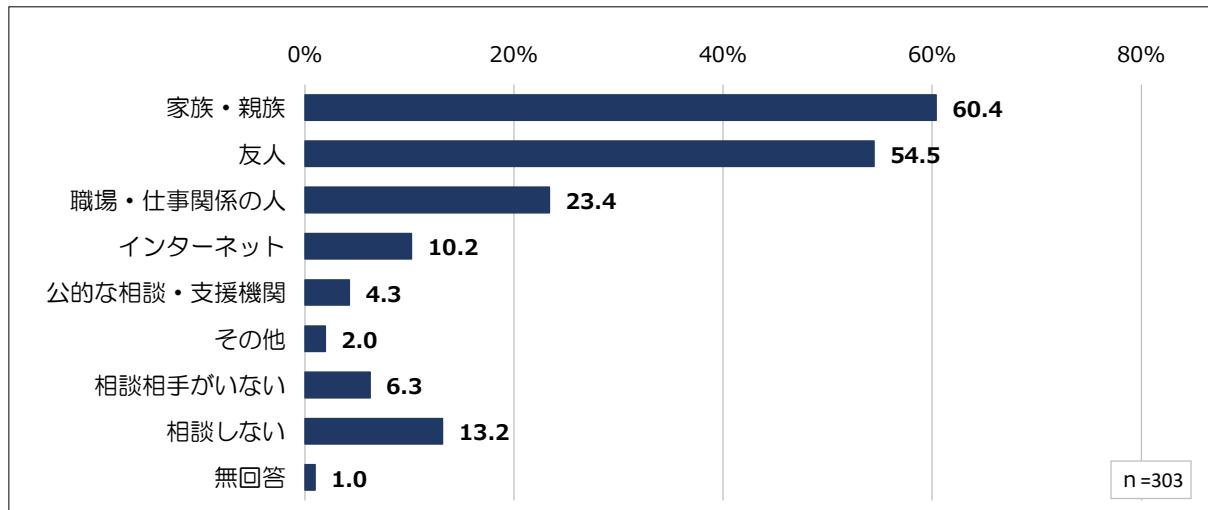
「お金のこと」の割合が最も高く、65.0%となっています。



問15 相談相手

悩んでいることや不安なことがあるとき、誰かに相談しますか（○はいくつでも）

「家族・親族」の割合が60.4%と最も高く、次いで「友人」が54.5%となっています。一方で「相談しない」が13.2%、「相談相手がない」が6.3%となっています。

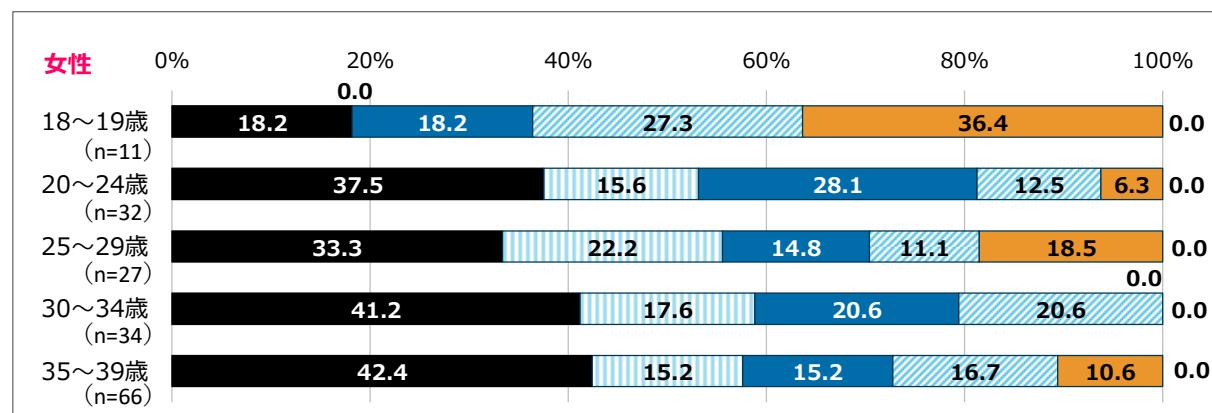
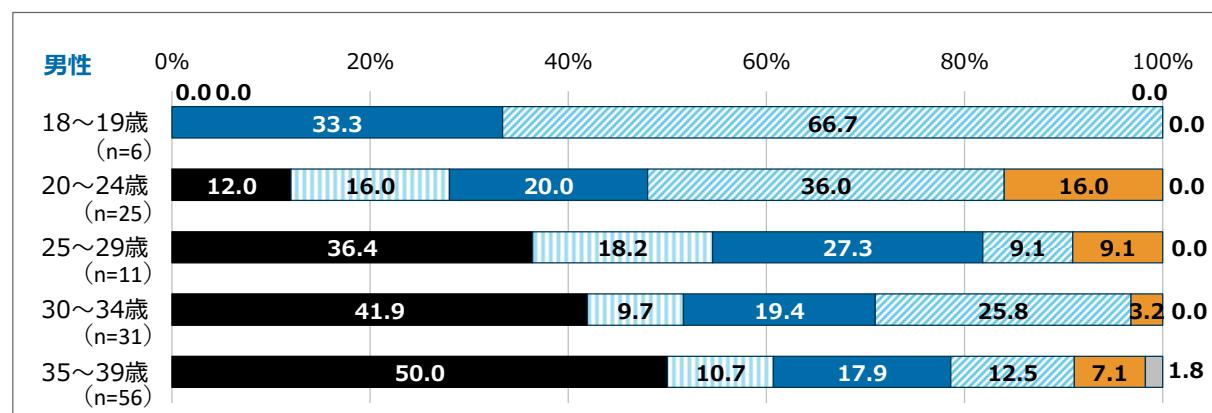
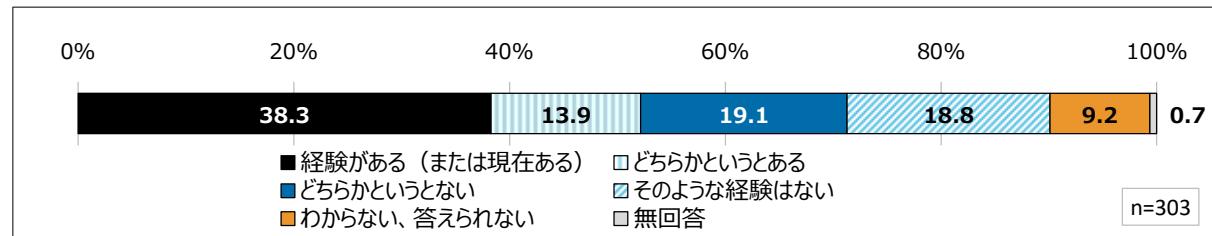


問16 社会生活を送ることが困難になった経験

あなたは今までに、社会生活や日常生活を円滑に送ることができなかつた経験がありましたか。または、現在、社会生活や日常生活を円滑に送れていない状況がありますか

「経験がある（または現在ある）」の割合が38.3%となっています。

性別・年齢別にみると、男性・女性ともに年齢が高くなるほど「経験がある（または現在ある）」の割合が高くなっています。特に男性でその傾向が強くみられます。



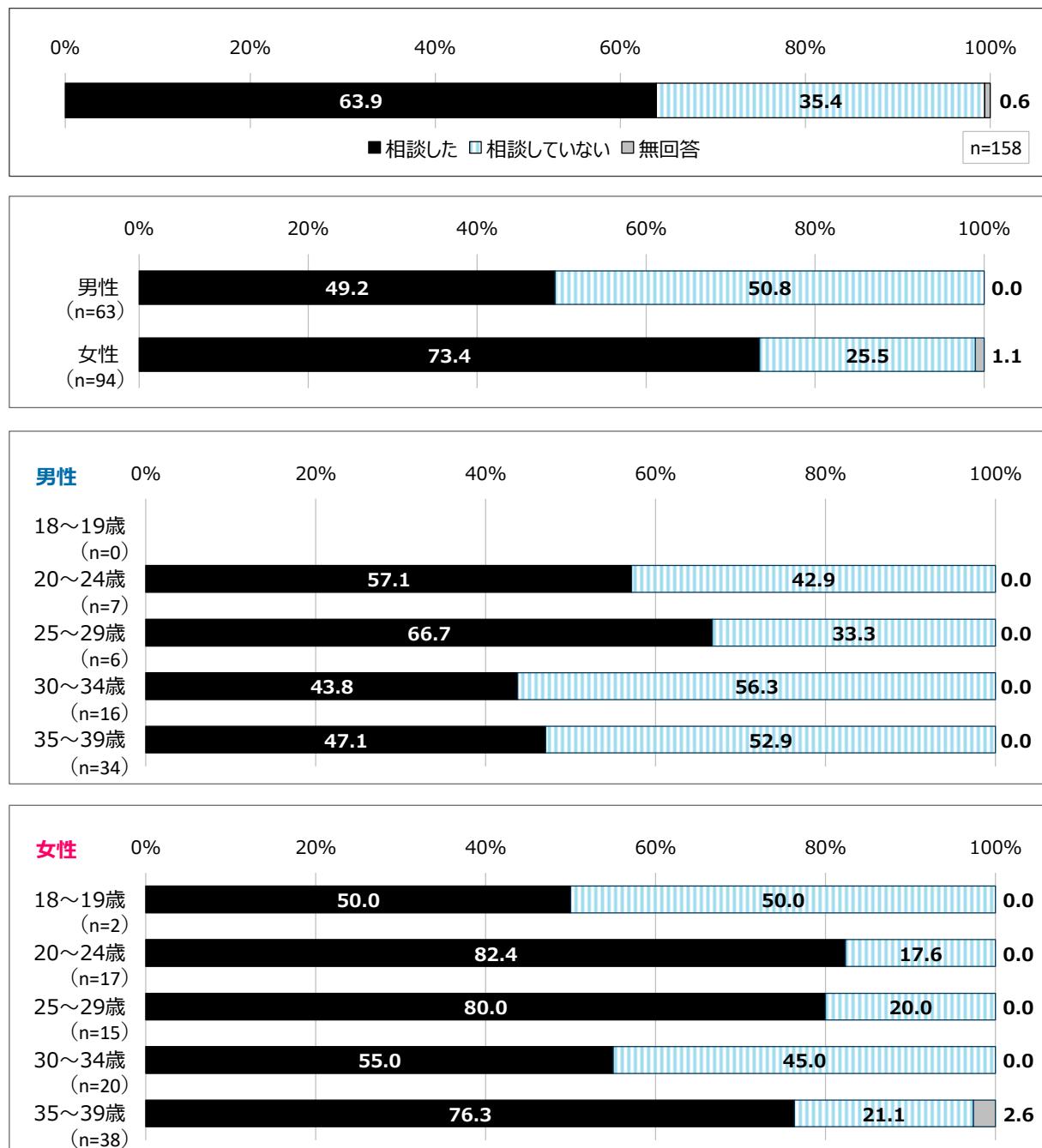
«問16で「経験がある（または現在ある）」または「どちらかというとある」と回答した人のみ»

問16-1 社会生活を送ることが困難なことについての相談

そのような経験をした、または現在経験していることについて、誰かに相談しましたか。電話相談やインターネットでの相談も含みます

「相談した」の割合が 63.9%、「相談していない」が 35.4% となっています。

性別・年齢別にみると、n 値が小さいこともあり明らかな傾向はみられませんでしたが、性別のみで比較すると、「相談した」の割合は男性が 49.2% なのに対し、女性は 24.2 ポイント高い 73.4% となっています。

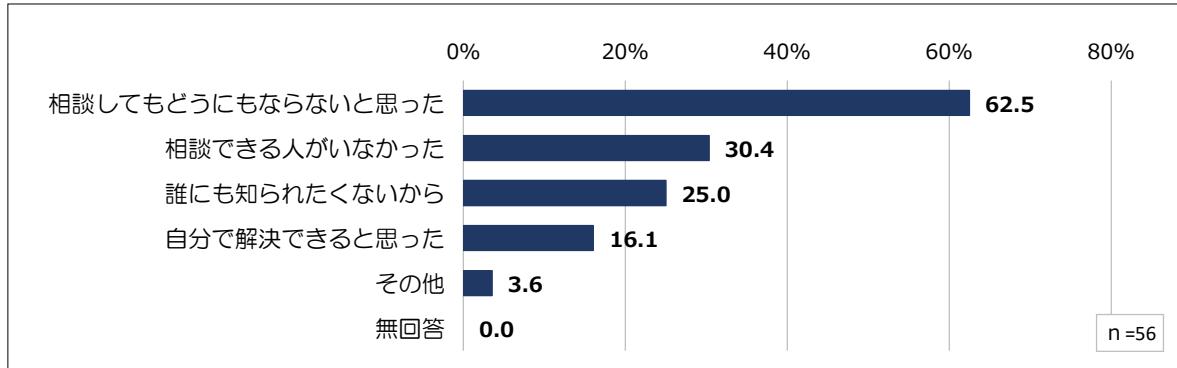


«社会生活を送ることが困難なとき相談しなかった人のみ»

問 16-1-1 相談しなかった理由

相談しなかったのはなぜですか (○はいくつでも)

「相談してもどうにもならないと思った」の割合が最も高く、62.5%となっています。



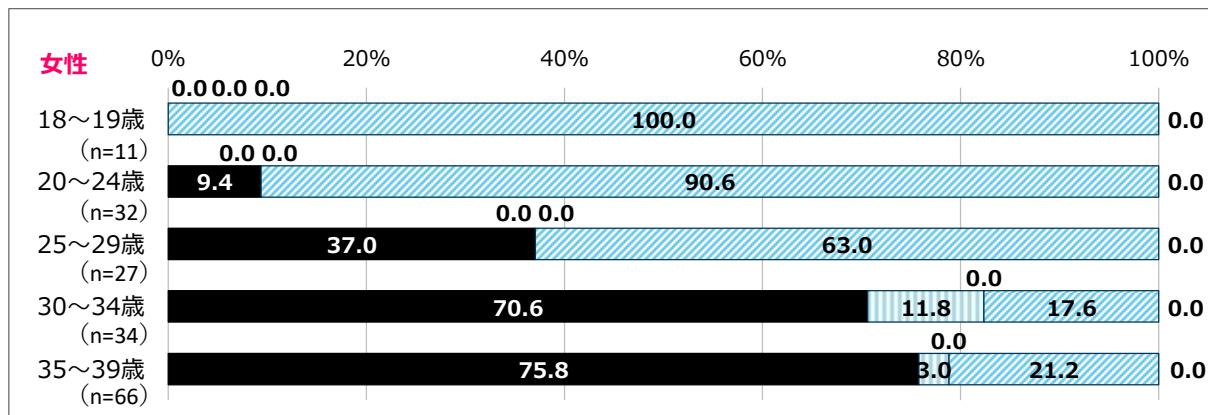
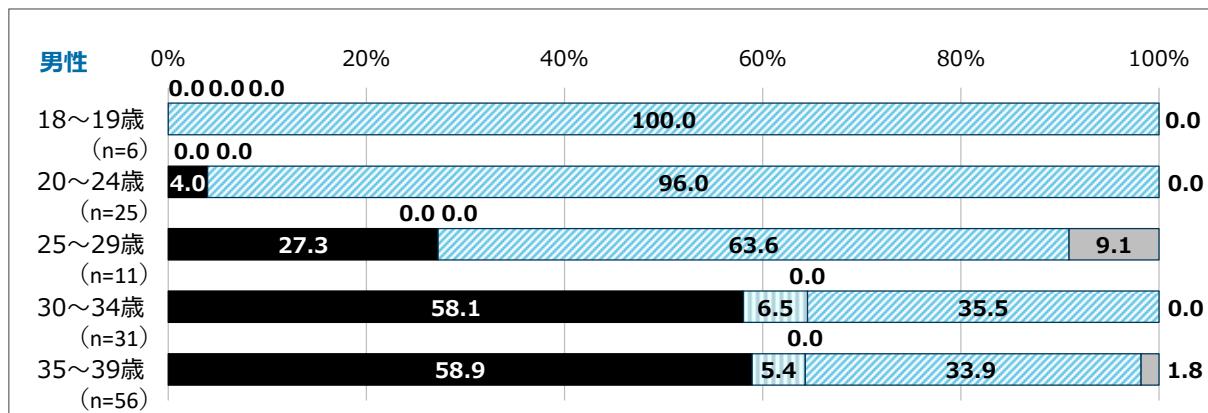
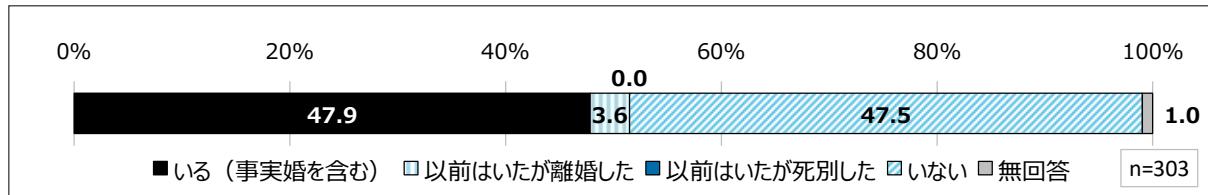
■ 結婚や家庭生活について

問17 配偶者

配偶者(パートナー)はいますか

「いる」の割合が47.9%、「いない」が47.5%となっています。

性別・年齢別にみると、男性・女性ともに20歳未満は配偶者がいる割合は0.0%となっています。20歳以上では、すべての年齢層で女性のほうが配偶者がいる割合が高くなっています。

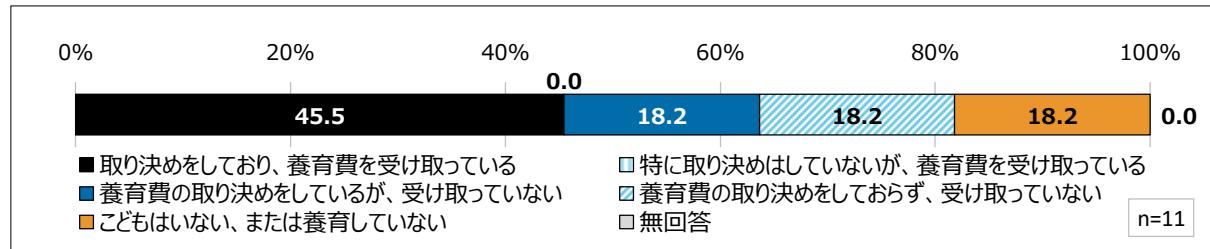


«離婚した人のみ»

問 17-1 養育費

離婚相手と子どもの養育費の取り決めをしていますか。また、現在養育費を受け取っていますか

「取り決めをしており、養育費を受け取っている」の割合が 45.5% となっています。

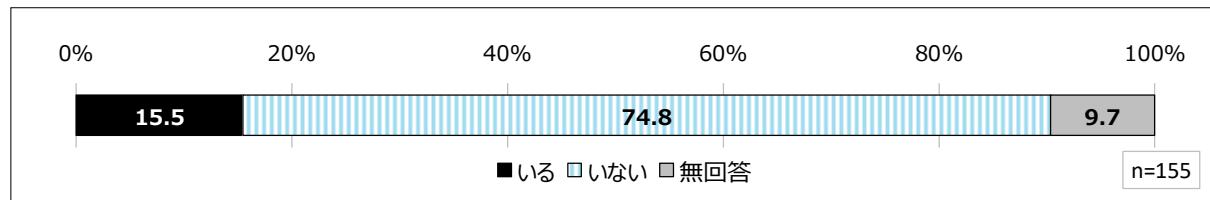


«現在は配偶者がいない人のみ»

問 17-2 恋人の有無

恋人はいますか

「いない」の割合が 74.8% で、「いる」の 15.5% を大きく上回っています。

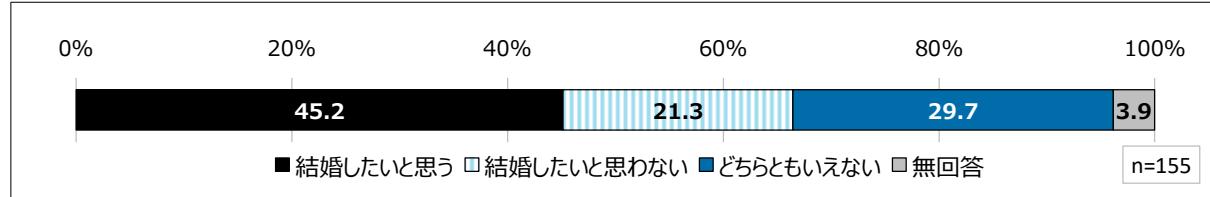


«現在は配偶者がいない人のみ»

問 17-3 結婚願望

将来結婚したいと思いますか

「結婚したいと思う」の割合が最も高く 45.2% となっています。次いで「どちらともいえない」が 29.7% で、「結婚したいと思わない」は 21.3% となっています。

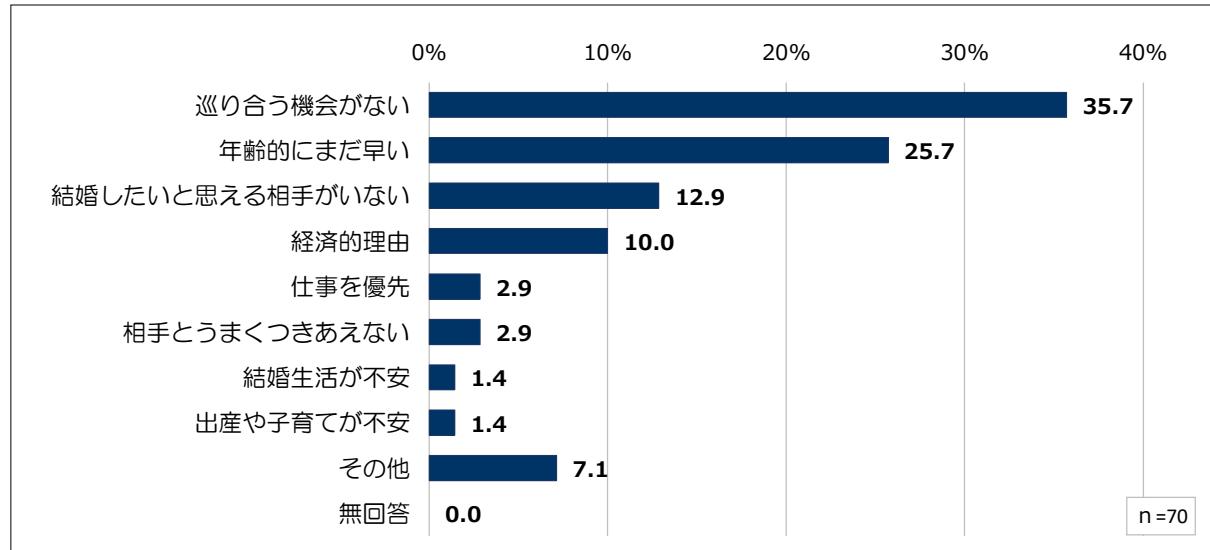


«問 17-3 で「結婚したい」と回答した人のみ»

問 17-3-1 結婚していない理由

結婚したいけれどしていない一番大きな理由は何ですか

「巡り合う機会がない」の割合が 35.7% と最も高く、次いで「年齢的にまだ早い」が 25.7% などとなっています。

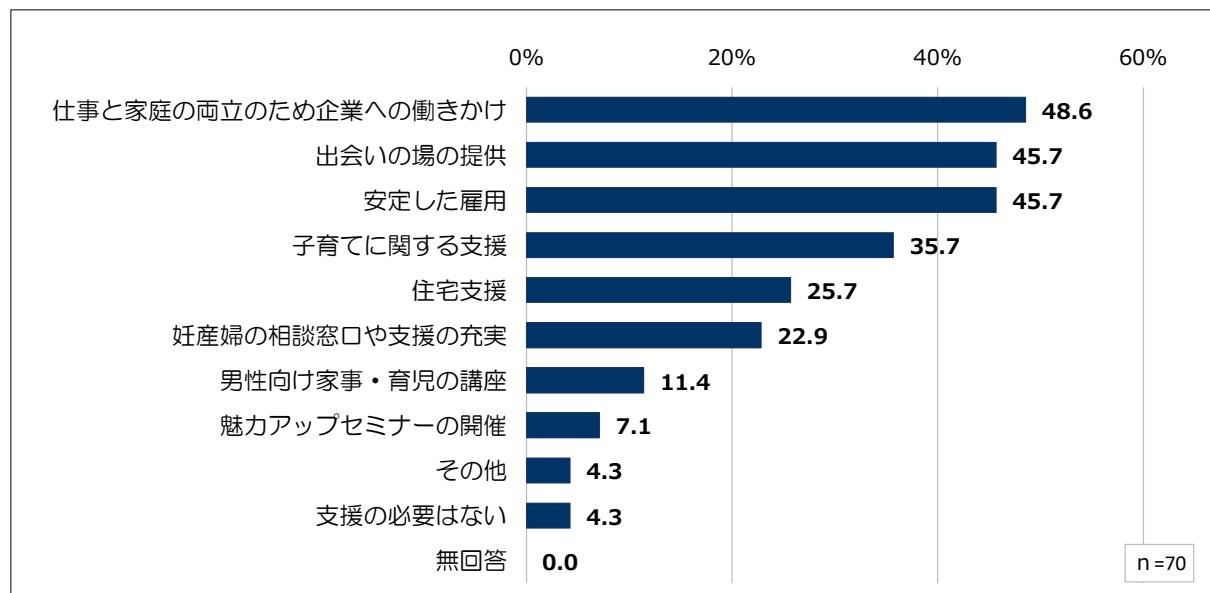


«問 17-3 で「結婚したい」と回答した人のみ»

問 17-3-2 結婚への支援

結婚するうえで必要だと思う支援は何ですか (○は 3 つまで)

「仕事と家庭の両立のための企業への働きかけ」の割合が 48.6% と最も高く、次いで「出会いの場の提供」と「安定した雇用」が 45.7% などとなっています。

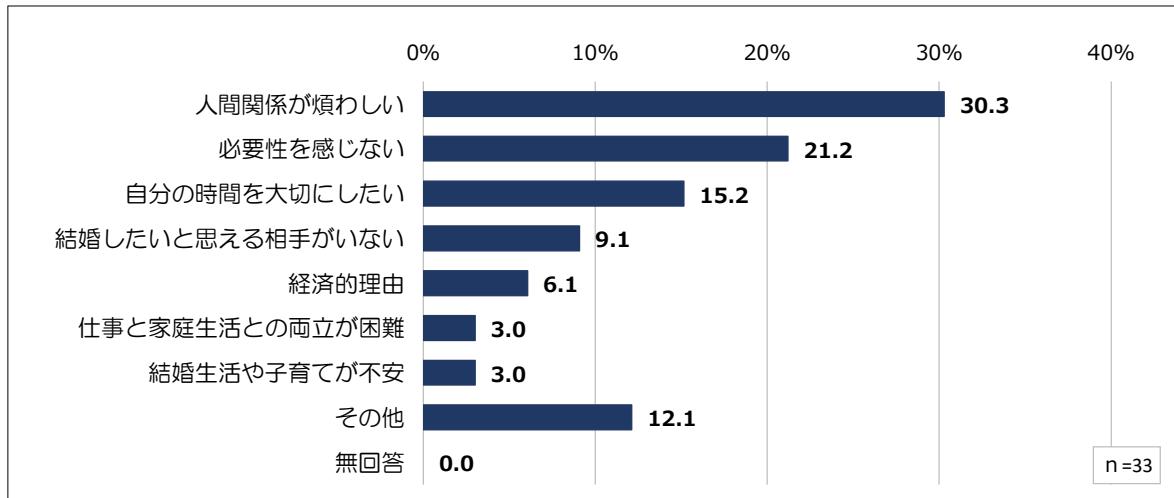


«問 17-3 で「結婚したいと思わない」と回答した人のみ»

問 17-3-3 結婚したいと思わない理由

結婚したいと思わない一番大きな理由は何ですか

「人間関係が煩わしい」の割合が最も高く 30.3% となっています。



※ その他は健康上の理由などとなっています。

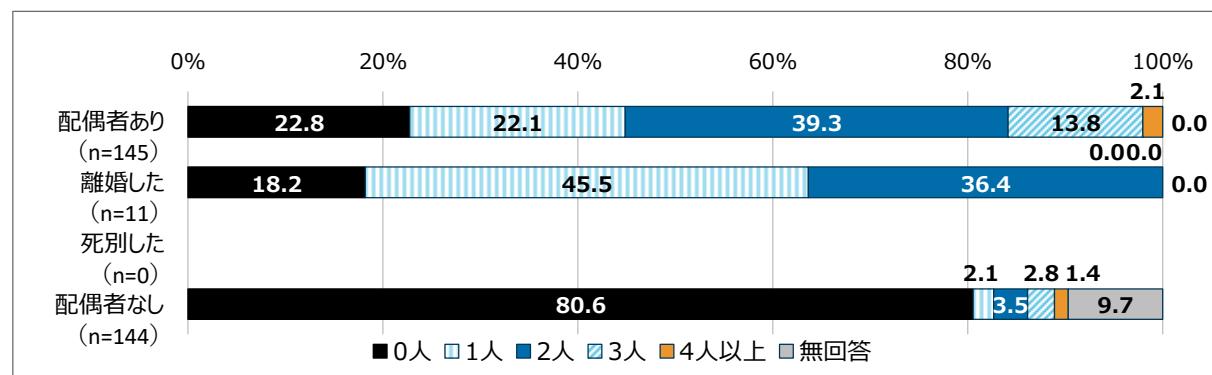
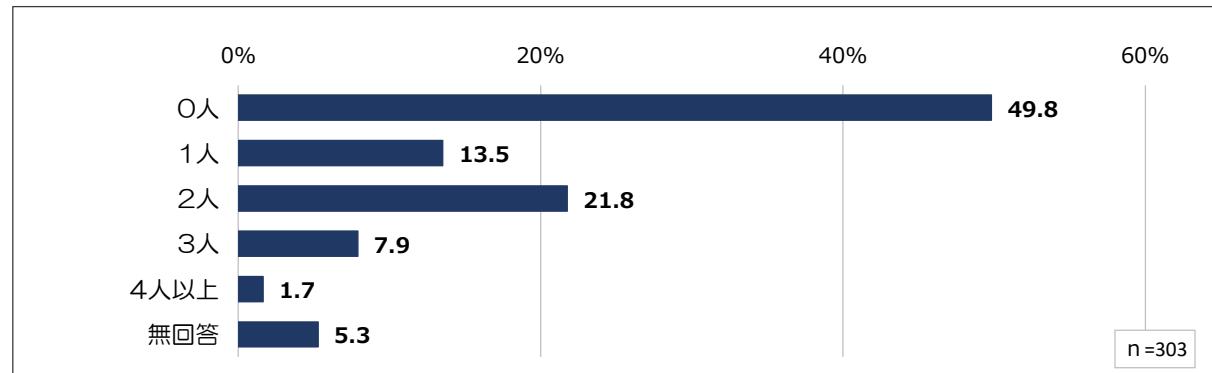
問18 こどもの人数

あなたのご家庭では、何人のお子さんがいますか。また、理想としては何人いるのが望ましいと考えていますか

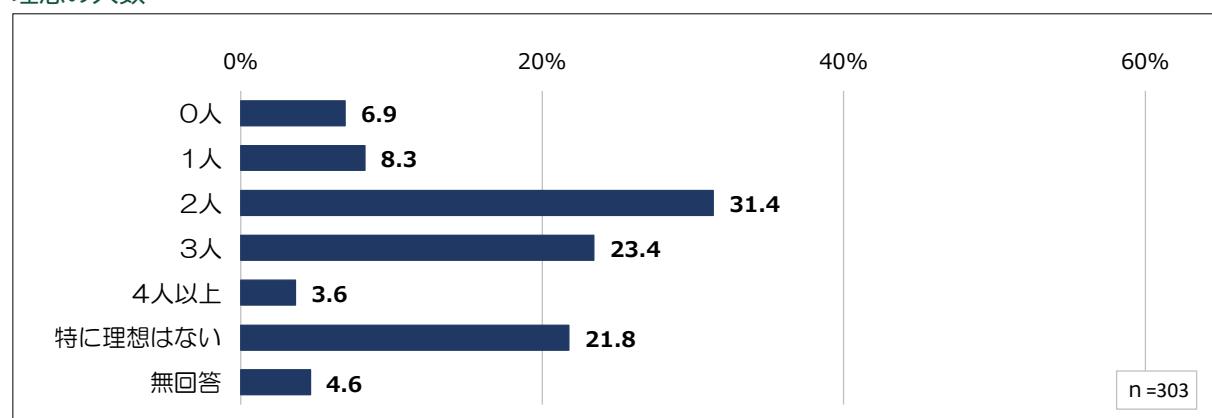
実際の人数は「0人」の割合が最も高く49.8%となっていますが、配偶者がいる人では「2人」の割合が最も高く39.3%となっています。

理想の人数は「2人」の割合が31.4%と最も高く、次いで「3人」が23.4%となっています。

実際の人数



理想の人数

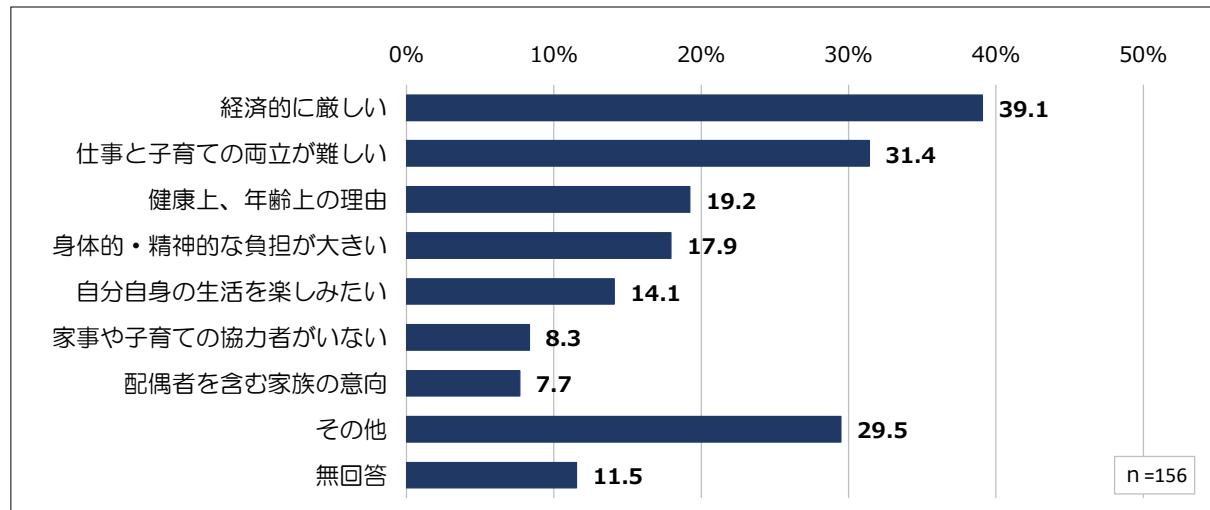


«実際の子どもの人数が理想とする人数より少ない人のみ»

問 18-1 実際の子どもの人数が理想より少ない理由

お子さんの人数が理想とすることの人数より少ない理由は何ですか (○はいくつでも)

「経済的に厳しい」の割合が 39.1% と最も高く、次いで「仕事と子育ての両立が難しい」が 31.4% などとなっています。



※ その他は結婚していないから、相手がいないから、まだこれから出産する予定などなどとなっています。

■ 地域や社会について

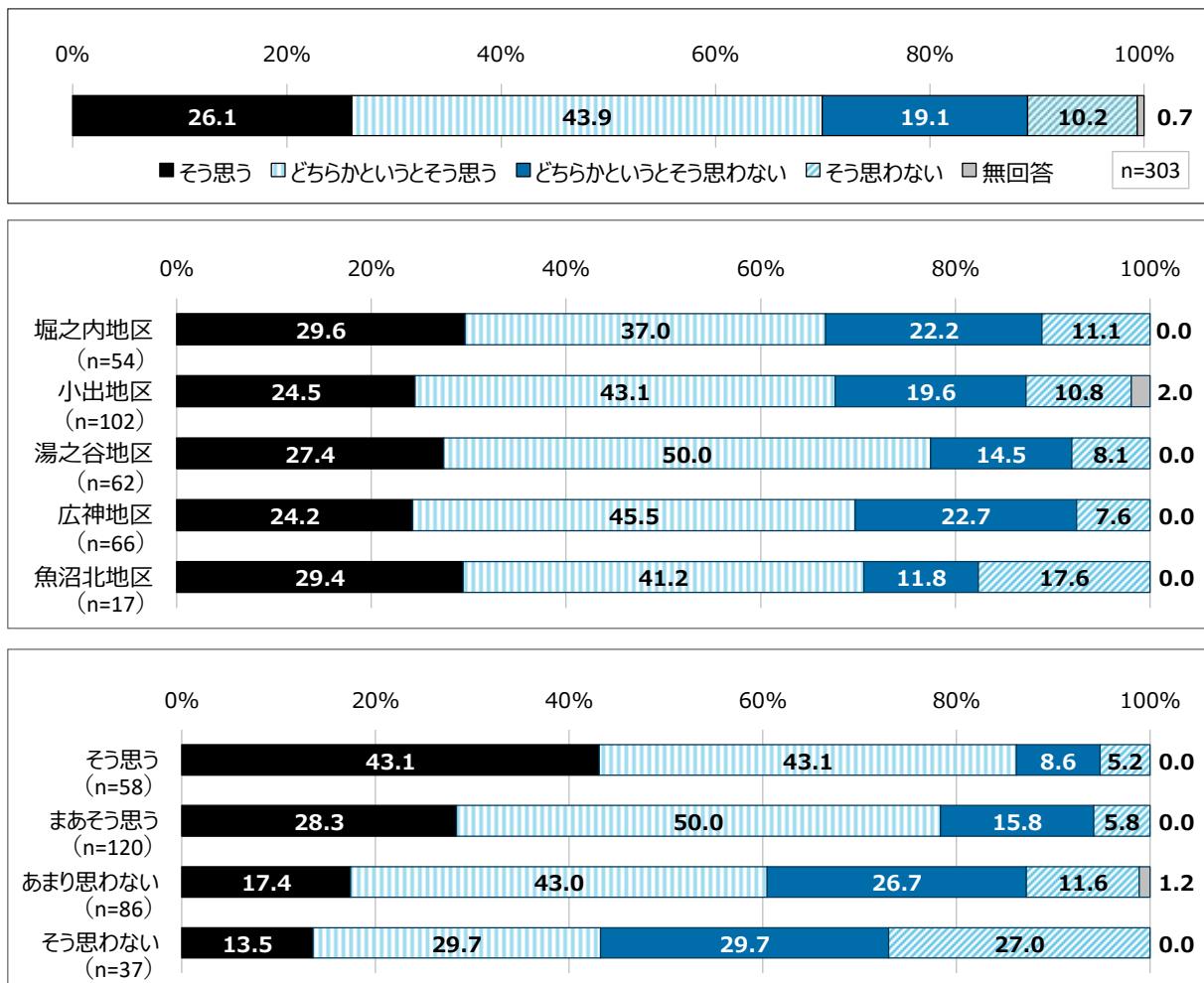
問19 魚沼市のことが好きか

あなたは、今住んでいる魚沼市のことが好きですか

「そう思う」の割合は26.1%で、「どちらかというとそう思う」と合わせると70.0%となっています。

居住地区別にみると「そう思う」の割合は堀之内地区と魚沼北地区で高くなっていますが、「どちらかというとそう思う」と合わせた割合は湯之谷地区で最も高く77.4%となっています。

自分のことが好きか（問8）の回答別にみると、自分のことが好きなほうが魚沼市のことも好きである傾向がみられます。

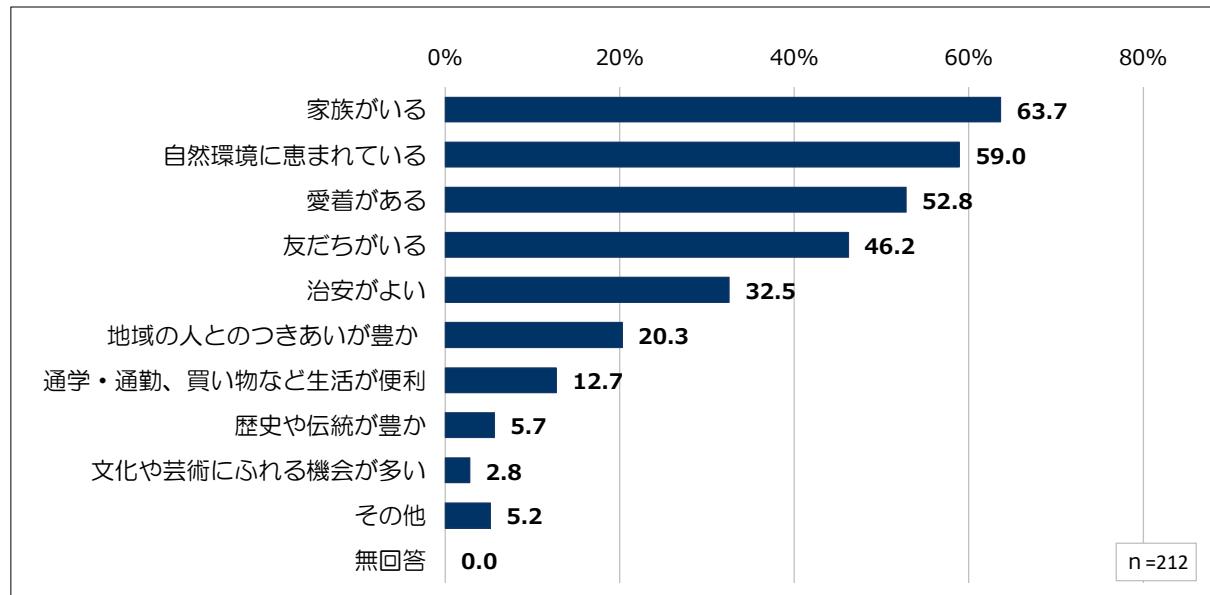


«問19で「そう思う」または「どちらかというとそう思う」と回答した人のみ»

問19-1 魚沼市のことが好きな理由

魚沼市が好きな理由は何ですか（○はいくつでも）

「家族がいる」の割合が 63.7% と最も高く、次いで「自然環境に恵まれている」が 59.0%、「愛着がある」が 52.8% などとなっています。

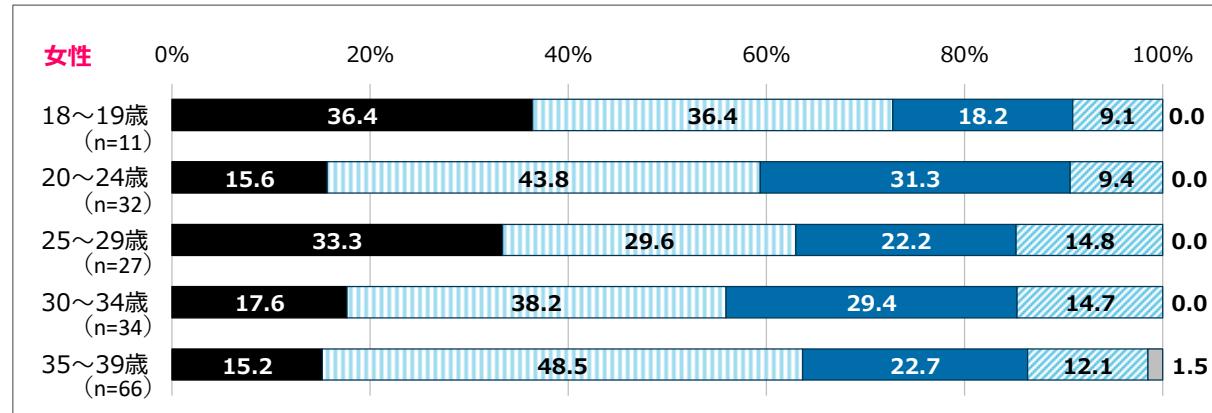
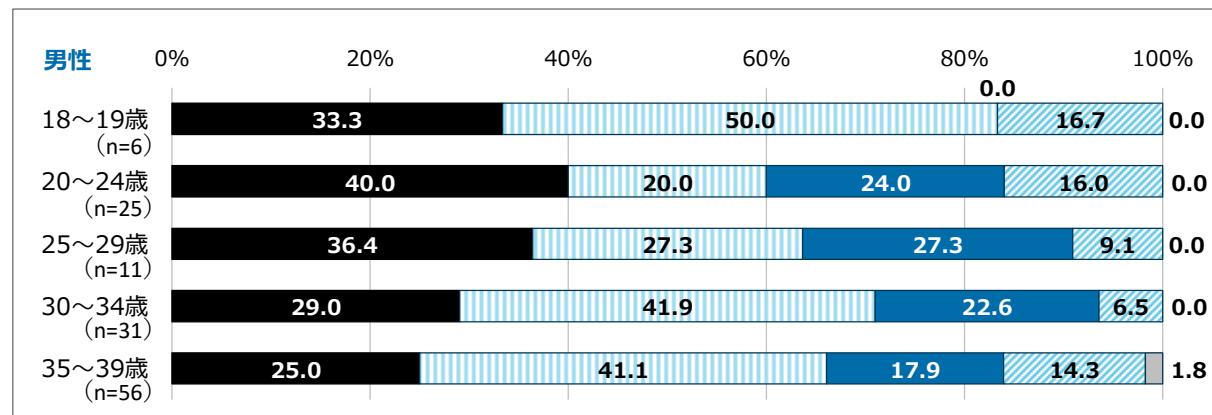
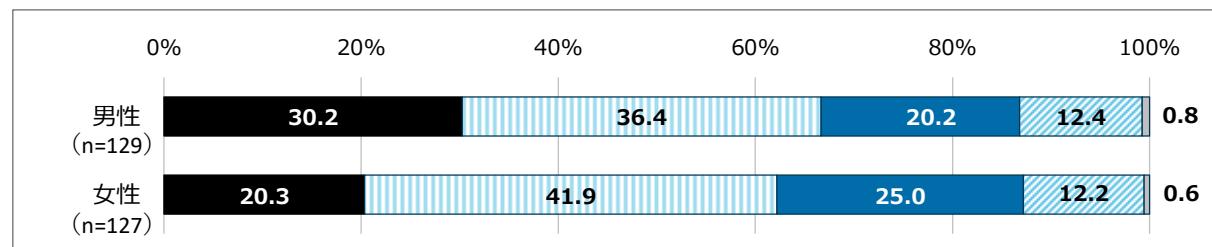
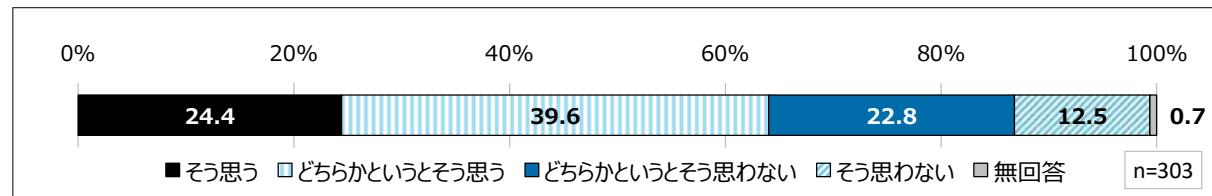


問20 今後の居住意向

これからも魚沼市に住み続けたいと思いますか

「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合わせた割合は64.0%で、「そう思わない」と「どちらかというとそう思わない」を合わせると35.3%となっています。

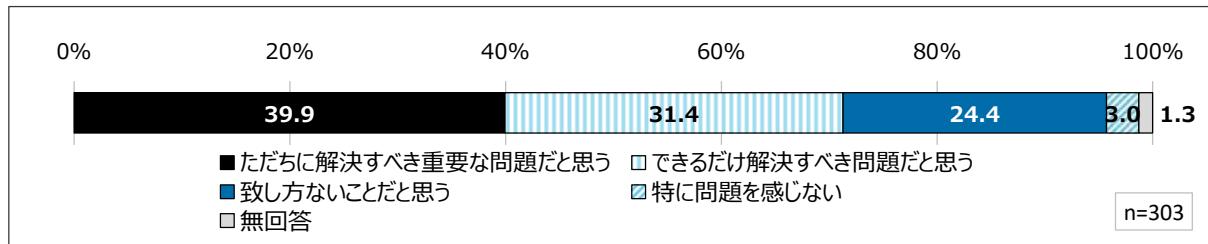
性別・年齢別に明らかな傾向はみられませんでしたが、性別のみで比較すると、「そう思う」の割合が男性は30.2%なのに対し、女性は9.9ポイント低い20.3%となっています。



問 21 少子化問題について

日本全国で少子化が急速に進行していますが、あなたは少子化問題をどのように捉えていますか

「ただちに解決すべき重要な問題だと思う」の割合が最も高く、39.9%となっています。



問 22 少子化対策

少子化対策として、あなたが特に重要だと思うことは何ですか（○は 5 つまで）

「妊娠・出産・産後の支援体制の確保」の割合が 58.7% と最も高く、次いで「子育てしながら働き続けることのできる環境の整備」が 45.2%、「子どもの教育費の助成」が 43.6% などとなって います。

